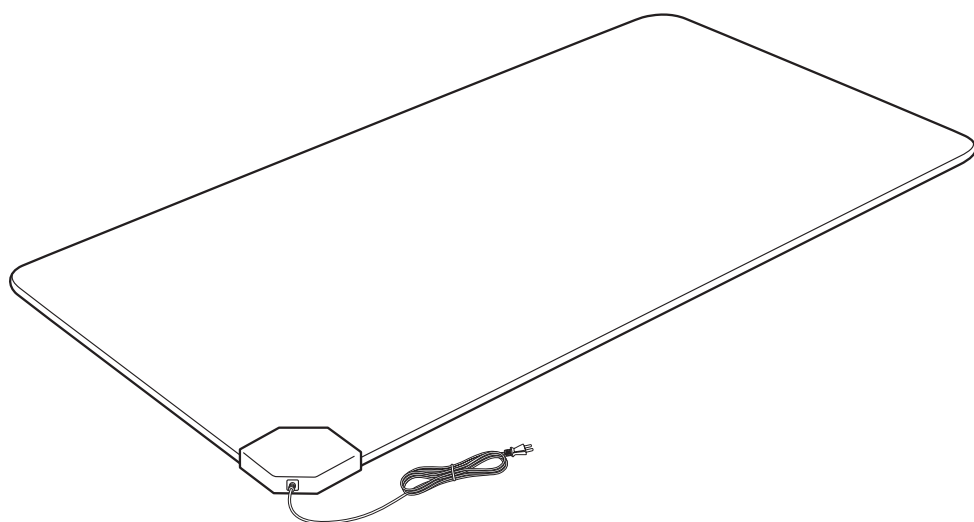


管理医療機器
電位・温熱組合せ家庭用医療機器

ウェルナイトライフ
WELLNIGHT LIFE
WN-8100HN



取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、ウェルナイトライフをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

このウェルナイトライフは“寝ながら健康のお手伝い”ができる電位・温熱組合せ家庭用医療機器です。

正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みくださいます様、お願いいたします。

なお、保証書は別添えしてありますので、この取扱説明書と共に大切に保存してくださいます様お願いいたします。

も く じ

効果	1
各部の名称	2
定格・仕様	3
安全のために必ず守ってください	4~9
正しいご使用方法	10~11
ウェルナイトライフの便利な機能	12
いろいろな使い方	13~18
お手入れと保管のしかた	19
保証とアフターサービス	20

効 果

電 位 治 療

- 頭 痛
- 肩 こり
- 不 眠 症
- 慢性便秘

の緩解

温 熱 治 療

- 血行を良くし、疲労を回復する
- 筋肉のこりをほぐし、疲れをとる
- 胃腸の働きを活発にする
- 神経痛や筋肉痛の痛みをやわらげる

負電位を身体に与えること
による電位効果

電熱により身体を温める
温熱効果

〈一般家庭で使用する事〉

一人用機器であり複数の人が同時に使用しないでください。

電位治療による反応について

電位治療を始めますと、人によっては最初のうち一時的に湯当たり（温泉につかり過ぎて疲れたような状態）に似た症状になることがあります。

この症状が強すぎて不快な場合には、“1日か2日治療を休んで”その後治療時間を、初めは短くして身体が慣れるにしたがって徐々に長くするようにすれば、快適に治療を続けることができます。

低温やけどについての知識

一般的に「やけど」といえば火、熱湯、油などが皮膚にふれておこるものです。

比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ個所に触れていると低温やけどを起こす場合があります。（個人差によっても異なります）

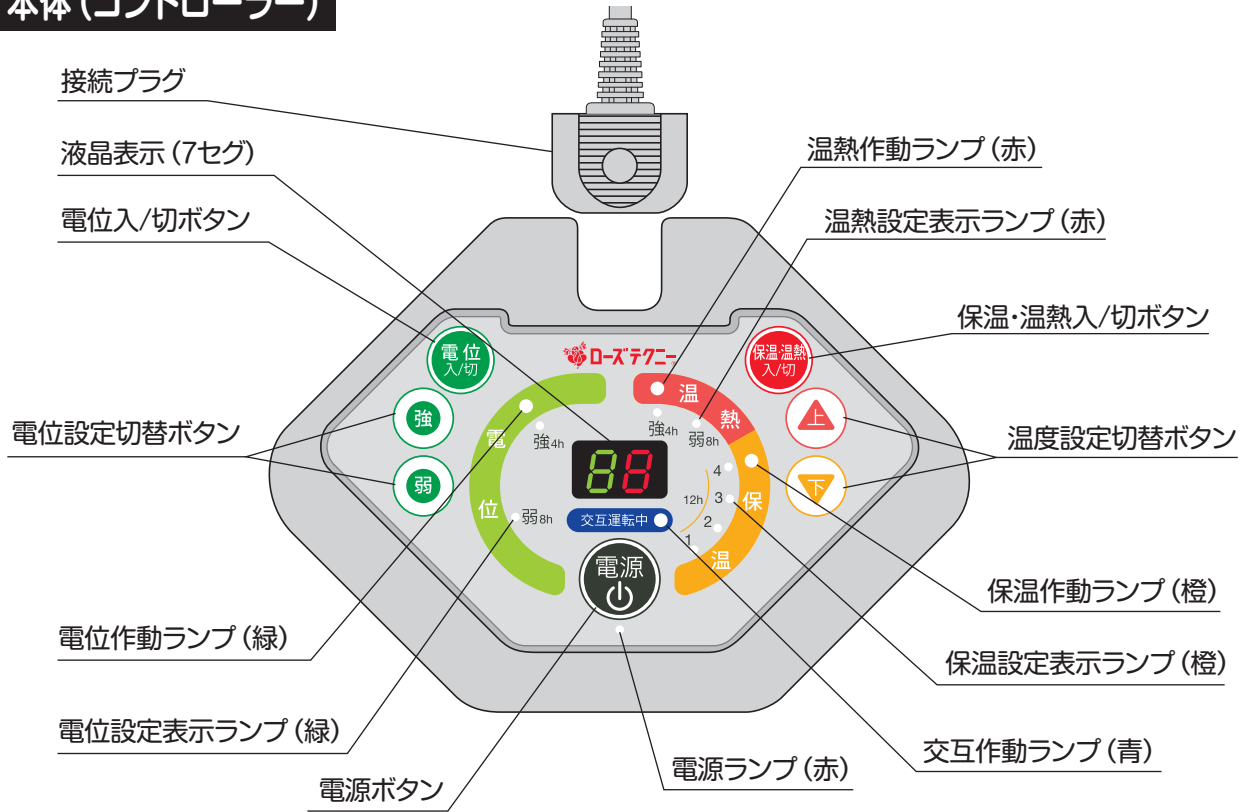
低温やけどは皮膚の深部におよび、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴です。

万一赤い斑点や水ぶくれができた場合には直ちに専門医の診断を受けてください。

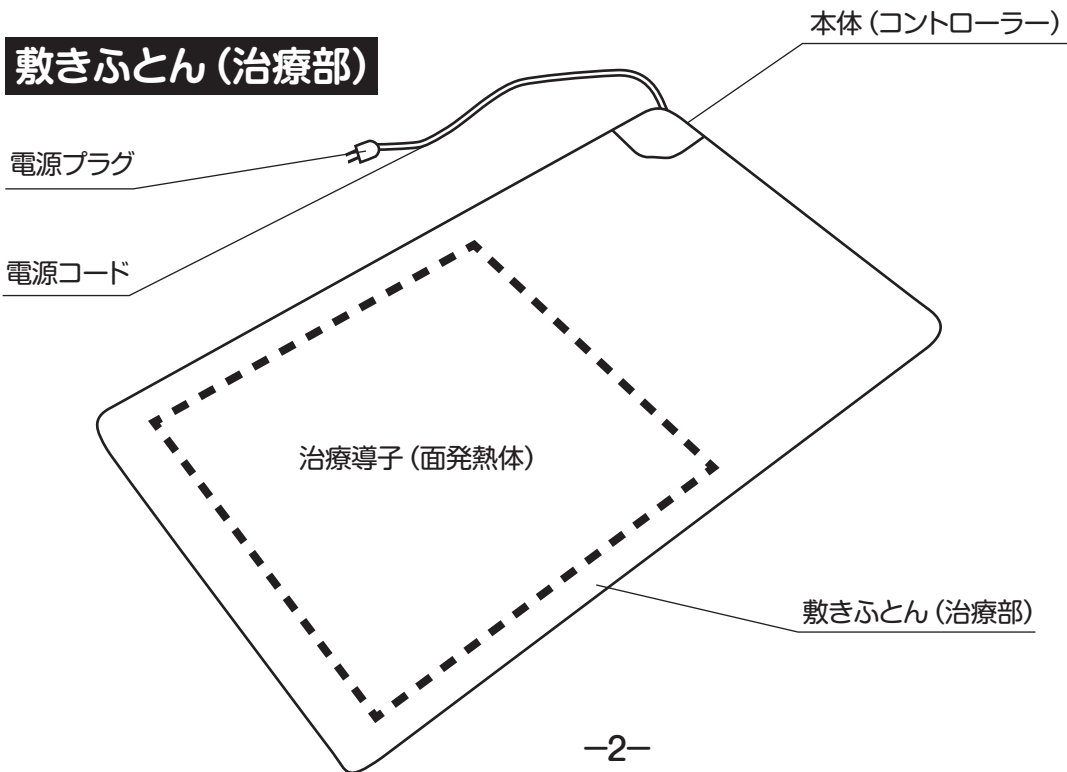
各部の名称

ウェルナイトライフ WN-8100HN

本体 (コントローラー)



敷きふとん (治療部)



定 格 ・ 仕 様

シングル(S)用




販 売 名	ローズテクニー JNR-1004					
定 格 電 圧	AC 100V 50/60Hz					
定 格 消 費 電 力	1.5W(電位治療) 125W(温熱治療)					
電位出力(ピーク値)	弱 -300V 強 -600V					
治療導子(面発熱体)	特殊カーボン面発熱体					
温度調節機構	感熱線によるトライアック制御(電子制御回路)					
安 全 装 置	自動温度調節回路・温度ヒューズ溶断回路 感熱線断線検知回路・異常電圧検知回路・温度過昇面検知回路 感熱線短絡検知回路・異常電流検知回路・リード線断線検知回路					
敷きふとん (治療部)	保温運転				温熱治療	
	[1]	[2]	[3]	[4]	[弱]	[強]
	約25℃ 約13wh 約0.35円	約29℃ 約15wh 約0.41円	約33℃ 約18wh 約0.49円	約37℃ 約20wh 約0.54円	約42℃ 約24wh 約0.65円	約46℃ 約35wh 約0.95円
寸 法	敷きふとん (治療部)	約 ヨコ 1000 × タテ 2000 × 厚さ 38 (mm)				
	治療導子 (面発熱体)	約 ヨコ 840 × タテ 1200 × 厚さ 2 (mm)				
	本 体 (コントローラー)	約 ヨコ 206 × タテ 145 × 厚さ 38 (mm)				
質 量	敷きふとん (治療部)	6.2kg				
	本 体 (コントローラー)	400g				
コ ー ド	電源コード 約2.5m					
外 皮 材 質	ポリエステル 100%					
梱 包 形 態	3つ折り					
管理医療機器・認証番号	225AHBZX00035000					

※温熱治療の表面温度はウレタン50mm全面断熱、室温20℃における値で、消費電力は室温10℃の畳の上で、8時間通電したときの平均値です。実際に使用されるときは、床温・床面などの部屋の構造や仕様状態により多少異なります。電気代は、めやすとして1KWh27円として計算しています。

安全のために必ず守ってください




この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたいこと（禁忌事項）を示しています。その表示の意味は次のようになっています。

内容をよく確認してから本文をお読みください。

表 示	表 示 の 意 味
 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容が記載されています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

1.  注意 (危険事項も含む) 2.  禁止 (してはいけないこと) 3.  強制 (必ずすること)

表 示	表 示 の 意 味
 やけど注意	▲は注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、▲の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“やけど注意”を示します。
 分解禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“分解禁止”を示します。
 プラグを抜く	●は強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“電源プラグを抜くこと”を示します。

*お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

危険

心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は、使用しないでください。

警告

次のような医療機器との併用は、影響を与える可能性があるので使用しないでください。

- ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器。
- ・心電計などの装着形の医用電気機器。

注意

次の人は、ご使用前に医師とご相談ください。

- ・悪性腫瘍のある人
- ・心臓に障害のある人
- ・妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
- ・体温38℃以上（有熱期）の人
 - 例1.急性炎症症状（倦怠感、悪寒、血圧変動など）の強い時期
 - 例2.衰弱しているとき
- ・安静を必要とする人
- ・脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性（疼痛性）疾患の人
- ・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- ・高血圧の人
- ・不整脈のある人
- ・睡眠時無呼吸の人
- ・喘息の人
- ・低温やけどをしたことのある人
- ・温度感覚喪失が認められる人
- ・その他、医師の治療を受けている人や、特に身体に異常を感じている人（お子様が使用される場合は、保護者又は専門家の監督が必要です。）

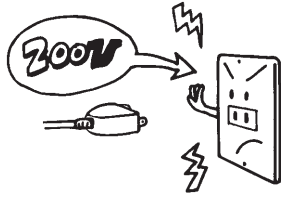
<しばらく使用しても、効果が現れない場合は、医師又は専門家にご相談ください。>

⚠ 注意

家庭用交流100V以外で使用しないこと。
火災をおこしたり感電することがあります。
また停電のときは直ちに電源を切ってください。



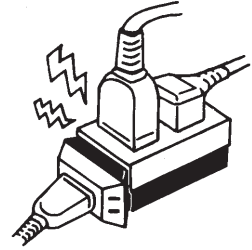
家庭用交流
100V以外
使用禁止



タコ足配線はしないこと。
火災の原因になります。



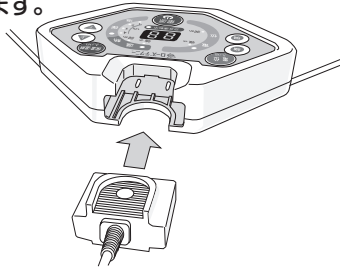
発火注意



コントローラーの接続プラグは、敷きふとんの
接続プラグ差し込み口に確実に差し込むこと。
過熱の原因となります。



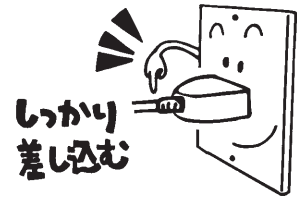
確実に差し込む



電源プラグは根元まで確実に差し
込むこと。
過熱することが
あります。



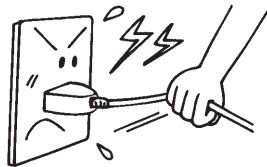
確実に差し込む



電源プラグを抜くときは、コードを
持たずに、必ず先端のプラグ
を持って引き抜くこと。
感電やショートして発火する
ことがあります。



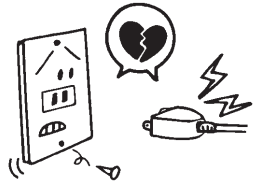
プラグを持って抜く



電源コードや電源プラグが傷んだり
コンセントの差し込みがゆるい
ときは使用しないこと。
感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだコード・プラグ禁止



絶対に分解したり修理・改造はおこなわないこと。
異常動作の原因となりキケンです。



分解禁止

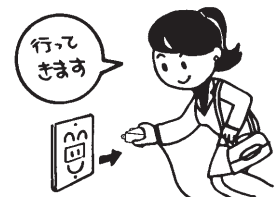


使用時以外は、電源プラグをコンセ
ントから抜くこと。

感電・漏電火災の原因になります。



プラグを
コンセントから抜く



⚠ 注意

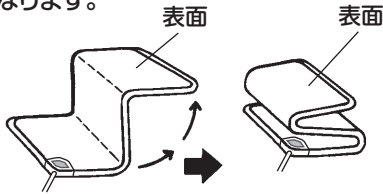
取扱いは正確にすること。

折りたたむ場合は必ず図のように3つ折りにたたんでください。

他の折りたたみ方では治療導子(面発熱体)の故障原因となります。



取扱注意



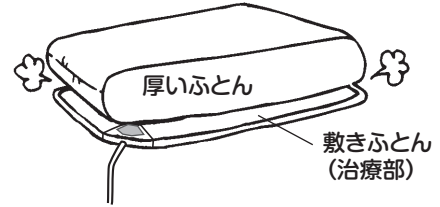
敷きふとん(治療部)の上に厚い

敷きふとんを使用しないこと。

熱がこもり、過熱して故障の原因となります。



使用禁止

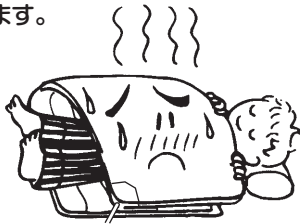


折りたたんだり、丸めた状態で使用しないこと。

過熱して故障の原因となり、やけどをおこすことがあります。



おりたたみ
使用禁止

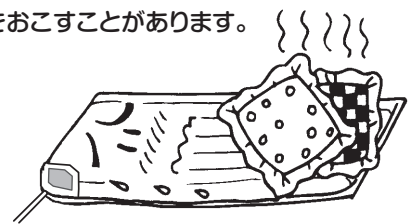


部分的に掛布団や毛布、座布団などをのせて、長時間使用しないこと。

部分的に過熱して故障の原因となり、やけどをおこすことがあります。



局部保温禁止



シンナー、ベンジンなどの溶剤やナフタリンなどの防虫剤を使用しないこと。また、スプレー缶などを敷きふとん(治療部)の近くに置かないこと。

爆発や火災、故障の原因となります。



溶剤・防虫剤禁止

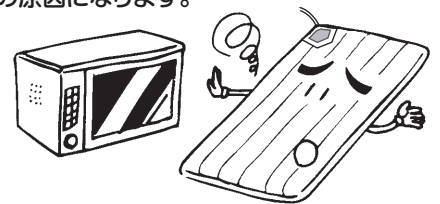


高周波機器(電磁調理器、アマチュア無線など高周波発生機器)の近くで使用しないこと。

誤動作の原因となります。



使用禁止



やわらかい布団の上や平らな所以外で使用しないこと。

部分的に過熱して故障の原因となり、やけどをおこすことがあります。正しく設置してください。

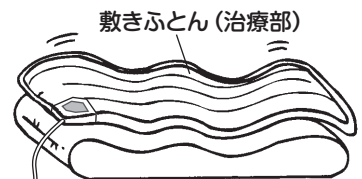
やわらかいふとんやマットの上で使用すると、敷きふとん(治療部)がしわになり、過熱して故障の原因となります。金属繊維など導電性物質を含むふとんとともに使用しないでください。



凹凸使用禁止



金属繊維禁止



⚠ 注意

敷きふとん（治療部）や本体（コントローラー）の取扱いは、大切にすること。

敷きふとん（治療部）やコントローラーをぶついたり、落としたり、踏みつけたりすると、故障や事故の原因になります。



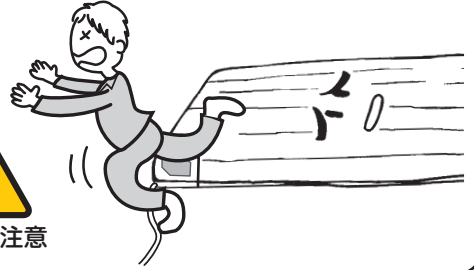
無理な取扱い禁止



コントローラーや電源コードにつまずいて転倒しないように注意すること。



つまずき注意

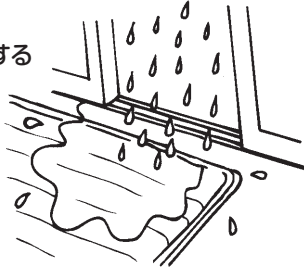


雨や水しぶきのかかるところや多湿（風呂場など）のところで使用しないこと。

ショートしたり感電することがあります。



感電注意



水などで濡れた状態では使用しないこと。ショートしたり感電することがあります。



水濡時使用禁止



寝タバコはしないこと。

火災の原因になります。



寝タバコ禁止



針やピン、釘など突き刺したり、刃物などで傷つけないこと。

治療導子部に金属を接触させると火災をおこしたり感電することがあります。



感電注意

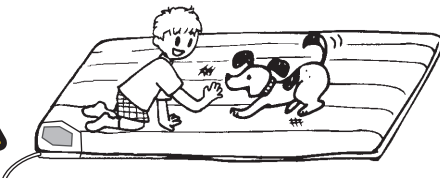


ペットと一緒に使用されるときは注意すること。

コードや敷きふとん（治療部）をいためることがあります。



損傷注意



他の治療器と同時に使用したり採暖器具（電気毛布類、湯たんぽ）を併用したり、アイロンを掛けたりしないこと。

故障をおこしたり、やけどをおこすことがあります。



使用禁止
（他の治療器、採暖器具、アイロン）



⚠ 注意

温熱治療のときは、高温になりますので
注意してください。

低温やけどをおこす
ことがあります。



やけど注意



使用中の人が外部の金属に触れたり、
外部の人が使用中の人に
触れると、微弱な電流を
感じることがあります
ので注意してください。



接触注意



身体に異常を感じたときは、
使用を中止すること。

直ちに使用を中止し販売店もしくは
医師に連絡し、指示に
従ってください。



異常時使用禁止



皮膚の弱い方、眠気を誘う薬を服用
された方、深酒、疲労の激しい方は、
使用に注意すること。

低温やけどをおこすことがあります。



やけど注意



乳幼児、お年寄り、ご病人など、
身体の自由がきかない方は、単独
で使用しないこと。

低温やけどをおこすことがあります。



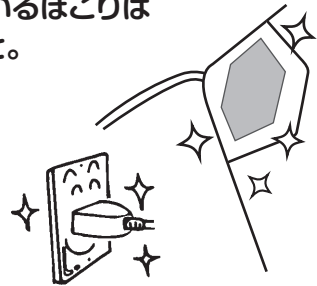
やけど注意



電源プラグやコントローラーに付
着しているほこりは
とること。



ほこりをとる



電源コードを傷付けないこと。

- × 無理な折り曲げやねじり、引張っての使用。
 - × 重い物を載せたり、挟み込んでの使用。
 - × 修理や加工。
- 破損し、火災・感電の原因となります。



無理な取扱い禁止

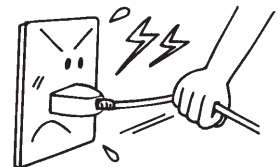


電源コードの無理な取扱いは
しないこと。

コードの断線やショートをおこし、故障、
火災の原因になります。



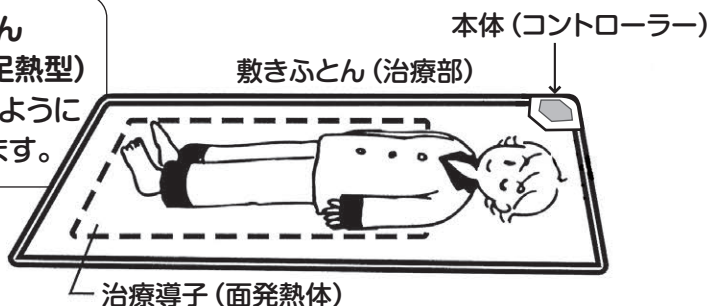
無理な折り曲げ禁止



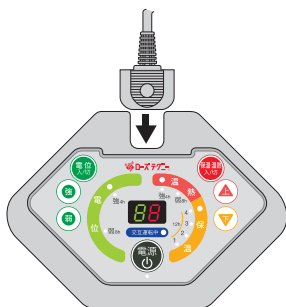
正しいご使用方法

1. ご使用の前に…

治療導子(面発熱体)は敷きふとん(治療部)の約2/3です。(頭寒足熱型)
治療導子(面発熱体)は図で示すように腰から下の部分に装着してあります。



取扱注意



差し込みは、根元まで。



確実に差し込む



1 コントローラーが頭側にくるよう敷きふとん(治療部)を敷いてください。

2 接続プラグを本体(コントローラー)に確実に差し込んでください。

3 電源プラグを家庭用交流100Vのコンセントに差し込んでください。

2. ご使用の後は…



プラグをコンセントから抜く



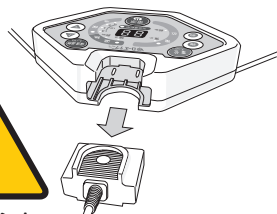
1 ご使用終了のときは、電源ボタンを押して、ランプの消灯を確認してください。

2 電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。

3 接続プラグを本体(コントローラー)から抜いてください。接続部に無理な力をかけないでください。



取扱注意



正しいご使用方法

3.異常のときは・・・



使用禁止

ご家庭の電気環境に異常が生じた場合や治療導子（面発熱体）に異常が生じた場合は、本体（コントローラー）の全てのLEDランプが点滅し、異常状態を下記のように液晶表示（7セグ）にてお知らせします。尚、運転は全て停止します。

7セグ表示 (点滅)	想定される異常発生原因
E1	主に、温度過昇面検知回路が作動したとき
E2	主に、温度過昇面検知回路が作動したとき
E3	主に、異常電圧検知回路が作動したとき
E4	主に、感熱線短絡検知回路が作動したとき
E5	主に、感熱線断線検知回路又はリード線断線検知回路が作動したとき
E6	主に、自動温度調節回路が作動したとき
E7	主に、自動温度調節回路が作動したとき
E8	主に、異常電流検知回路が作動したとき

※なお異常状態が生じた際には、一度電源を切り、再度入れ直してください。

一時的な誤作動等の異常状態であれば正常復帰します。

停電のときは直ちに電源を切ってください。

正常復帰しないときは、お買い上げのお店にご相談ください。

ウェルナイトライフの便利な機能

1 **電位治療** …… 13 ページを参照してください。

「弱」・・・・・・・・・・ -300V(ピーク値) 最長 8 時間

「強」・・・・・・・・・・ -600V(ピーク値) 最長 4 時間

2 **温熱治療** …… 14 ページを参照してください。

「弱」・・・・・・・・・・ 約 42℃ 最長 8 時間

「強」・・・・・・・・・・ 約 46℃ 最長 4 時間

(温度は敷きふとん表面温度です。)

3 **交互運転** …… 15 ページを参照してください。

温熱治療と電位治療が交互に繰り返されます。

最長8時間使用できます。

4 **保温運転** …… 16 ページを参照してください。

40℃未満の熱で身体を温める機能です。

保温「1」約25℃ 保温「2」約29℃

保温「3」約33℃ 保温「4」約37℃

(温度は敷きふとん表面温度です。)

最長12時間使用できます。

5 **保温運転と電位治療の同時運転** …… 17 ページを参照してください。

40℃未満の熱で身体を温めながら電位治療ができます。

※) 日本工業規格で温熱治療温度は、
40℃以上 60℃以下と定められています。

いろいろな使い方

1. 電位治療

電位治療は、身体に負電位をあたえる治療です。

治療導子に荷電されますが、ほとんど電流は流れないので身体には感じることなく、電気代もほとんどかかりません。

治療時間は、強制オフタイマーの作動により電位「弱」で8時間、「強」で4時間で終了します。

治療を始める直前に

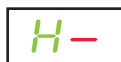


- 1** 電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源ランプ (赤) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左右に緑・赤色の「-」が表示します。
- 2** 電位入/切ボタンを押してください。
電位作動ランプ (緑) と電位設定 (弱) 表示ランプ (緑) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左に緑色の「L」が表示します。
- 3** 電位設定切替ボタン (弱・強) を押して好みの電位「強」または、電位「弱」を選んでください。
電位作動ランプ (緑) と選択した電位設定表示ランプ (緑) が点灯します。
電位「強」を選択した場合は、液晶表示 (7セグ) 左に緑色の「H」が表示します。

液晶表示



「弱」 …… -300V (ピーク値) 最長 8 時間



「強」 …… -600V (ピーク値) 最長 4 時間

なお、液晶表示 (7セグ) は10秒間表示されたのち消灯します。消灯後いずれかの操作ボタン (電源ボタン以外) を押すと再度表示され操作可能になります。

- 4** 電位治療を停止するときは、電位入/切ボタンを押してください。
電位作動ランプ (緑) と電位設定表示ランプ (緑) が消灯し、液晶表示 (7セグ) 左に緑色の「-」が表示します。
電源ボタンを押して電源を切ってください。

※ 電位治療と保温運転は同時に使用することもできます。(P17参照)

いろいろな使い方

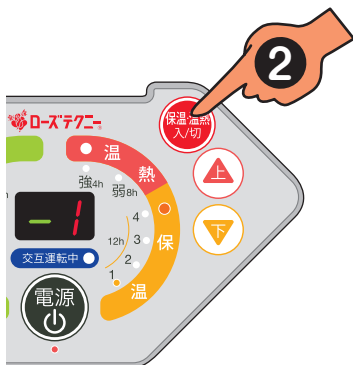
2. 温熱治療

温熱治療は、電熱により身体を温める治療です。
治療時間は、強制オフタイマーの作動により「弱」で8時間、
「強」で4時間で終了します。

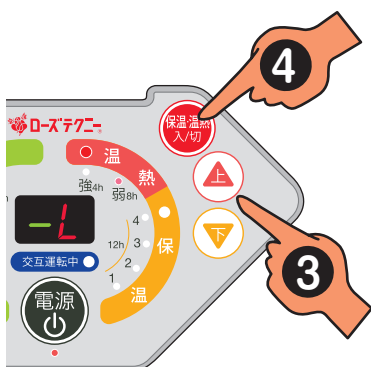
治療を始める40分程前に



1 電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源ランプ (赤) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左右に
緑・赤色の「1」が表示します。



2 保温・温熱入/切ボタンを押してください。
保温作動ランプ (橙) と保温設定「1」表示ランプ (橙) が
点灯し、液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「1」が表示します。



3 温度設定切替ボタン \triangle ・ ∇ を押してお好みの温熱「弱」
「強」を選んでください。温熱作動ランプ (赤) と選択した
温熱設定表示ランプ (赤) が点灯します。
液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「L」 (弱のとき)、「H」 (強
のとき) が表示します。

液晶表示

「弱」 …… 約42℃ 最長8時間

「強」 …… 約46℃ 最長4時間
(温度は敷きふとん表面温度です。)

※温熱治療終了後は、自動的に保温「3」で12時間運転します。

4 温熱治療を停止するときは、保温・温熱入/切ボタンを押し
てください。
温熱作動ランプ (赤) と温熱設定表示ランプ (赤) が消灯し、
液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「1」が表示します。
電源ボタンを押して電源を切ってください。

なお、治療温度及び治療時間は日本工業規格(JIS T 2008)において、
温熱治療温度は、40℃以上60℃以下、治療時間は8時間以内に定められています。
なお、40℃以上の温度は比較的高温ですので使用時には十分注意してください。

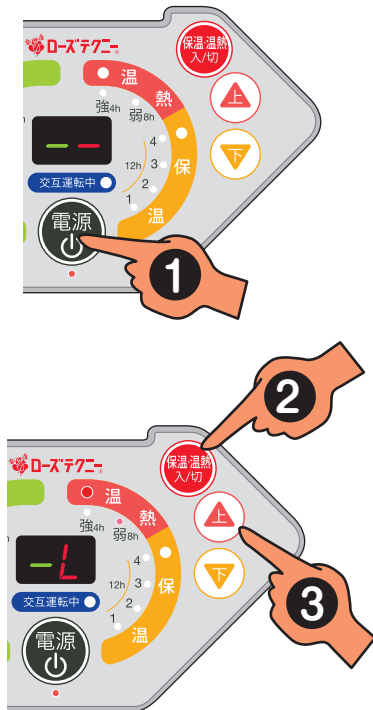
いろいろな使い方

3. 交互運転

電位治療と温熱治療が交互に繰り返されます。

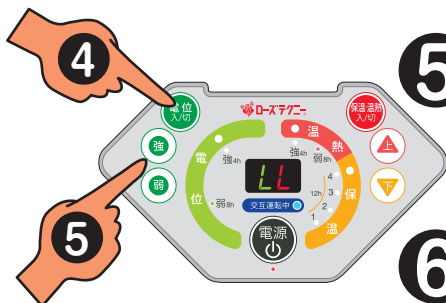
運転時間は、強制オフタイマーの作動により温熱治療「弱」を選択すると8時間、「強」を選択すると4時間で終了します。(P18参照)

治療を始める40分程前に



- 1 電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源ランプ (赤) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左右に緑・赤色の「-」が表示します。
- 2 保温・温熱入/切ボタンを押してください。
保温作動ランプ (橙) と保温設定「1」表示ランプ (橙) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「|」が表示します。
- 3 温度設定切替ボタン \triangle ・ ∇ を押してお好みの温熱「強」「弱」を選んでください。温熱作動ランプ (赤) と選択した温熱設定表示ランプ (赤) が点灯します。
(P14参照)

治療を始める直前に



- 4 電位入/切ボタンを押してください。
電位設定「弱」表示ランプ (緑) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左に緑色の「L」が表示します。
またこのとき、温熱作動ランプ (赤) が消灯し交互作動ランプ (青) が、自動的に点灯します。
- 5 電位設定切替ボタン \odot ・ \ominus を押して、お好みの電位「強」または、電位「弱」を選んでください。
選択した電位設定表示ランプ (緑) が点灯します。
(P13参照)
- 6 電位治療と温熱治療を交互に繰り返す交互運転が始まります。温熱「強」を選択した場合は4時間、温熱「弱」を選択した場合は8時間で終了します。

※交互運転終了後は、自動的に保温「3」で12時間運転します。

いろいろな使い方

4.保温運転

保温運転は、電熱により40℃未満の熱で身体を心地よく温める機能です。
また、保温運転と電位治療は、同時に使用することもできます。
運転時間は、強制オフタイマーの作動により12時間で終了します。

ご使用される40分程前に



- 1 電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源ランプ (赤) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左右に
緑・赤色の「1」が表示します。
- 2 保温・温熱入/切ボタンを押してください。
保温作動ランプ (橙) と保温設定「1」表示ランプ (橙) が点
灯し、液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「1」が表示します。
- 3 温度設定切替ボタン \triangle ・ ∇ を押してお好みの温度保温
「1」・「2」・「3」・「4」を選んでください。保温作動ランプ
(橙) と選択した保温設定表示ランプ (橙) が点灯します。
液晶表示 (7セグ) 右に下記の様に選択した数字が表示し
ます。

液晶表示



「1」約25℃
「3」約33℃

液晶表示



「2」約29℃
「4」約37℃

(温度は敷きふとん表面温度です。)

12時間で終了します。

- 4 保温運転を停止するときは、保温・温熱入/切ボタンを押
してください。
保温作動ランプ (橙) と保温設定表示ランプ (橙) が消灯し、
液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「1」が表示します。
電源ボタンを押して電源を切ってください。

※ 保温運転と電位治療は同時に使用することもできます。(P17参照)

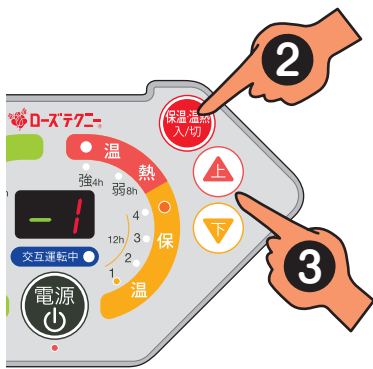
いろいろな使い方

5.保温運転と電位治療の同時運転

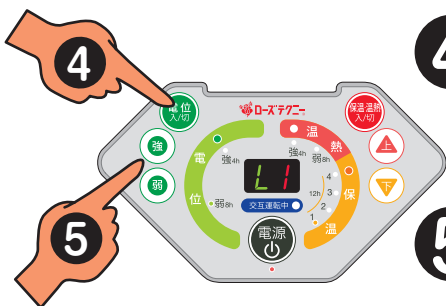
ご使用される40分程前に



- 1 電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源ランプ (赤色) が点灯し、液晶表示 (7セグ) 左右に
緑・赤色の「1」が表示します。
- 2 保温・温熱入/切ボタンを押してください。
保温作動ランプ (橙) と保温設定「1」表示ランプ (橙) が
点灯し、液晶表示 (7セグ) 右に赤色の「1」が表示します。
- 3 温度設定切替ボタン Δ ・ ∇ を押してお好みの温度保温
「1」・「2」・「3」・「4」を選んでください。保温作動ランプ
(橙) と選択した保温設定表示ランプ (橙) が点灯します。
(P16参照)
12時間で終了します。



治療を始める直前に



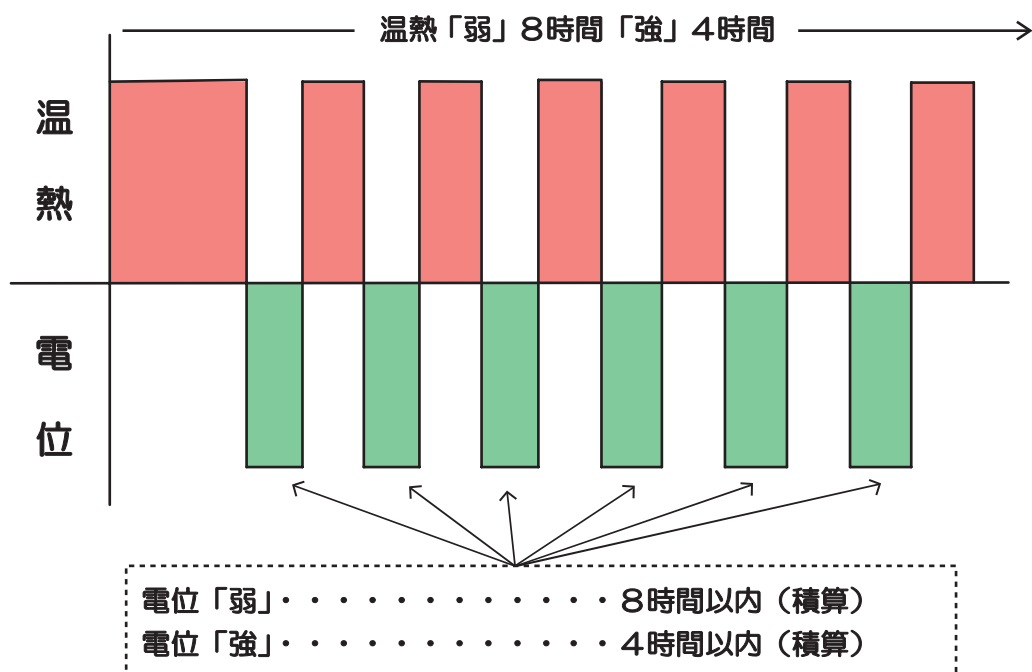
- 4 電位入/切ボタンを押してください。
電位作動ランプ (緑) と電位設定「弱」表示ランプ (緑) が
点灯し、液晶表示 (7セグ) 左に緑色の「L」が表示します。
- 5 電位設定切替ボタン (強)・(弱) を押してお好みの電位「強」ま
たは、電位「弱」を選んでください。
電位作動ランプ (緑) と選択した電位設定表示ランプ (緑)
が点灯します。(P13参照)
電位「弱」で8時間、「強」で4時間で終了します。

※保温運転と電位治療が同時に使用できます。

いろいろな使い方

交互運転で知っておいていただきたいこと

- 1 交互運転は電位治療と温熱治療を交互に繰り返す運転機能ですが、敷きふとん（治療部）の表面温度を一定に保つため、温熱治療を優先しておこないます。温熱治療運転中は、サーモスタット（自動温度制御装置）の働きにより、通電が自動的にオン（入り）オフ（切り）されます。交互運転中の電位治療は、温熱通電のオフ（切り）時に負電位を出力することによっておこなわれます。



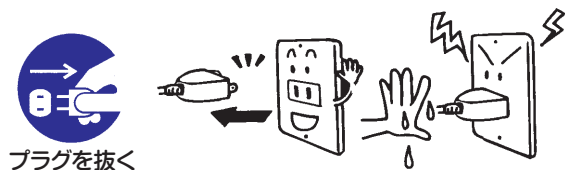
※電位治療の時間は出力された積算時間となります。

※交互運転終了後は、自動的に保温「3」で12時間運転します。

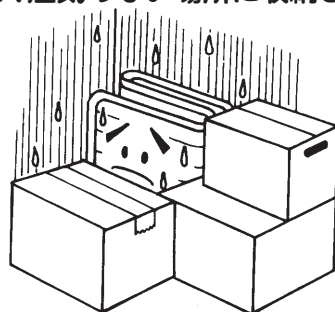
- 2 交互運転中の電位治療が先に終了した場合は、温熱治療のみで運転されますが、もう一度、電位入/切ボタンを押すことにより交互運転中の電位治療を再度使用することができます。

お手入れと保管のしかた

お手入れの際には、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。



保管するときは、湿気のない場所に収納してください。

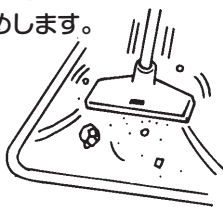


表面のほこりやごみは、掃除機などで吸い取ってください。

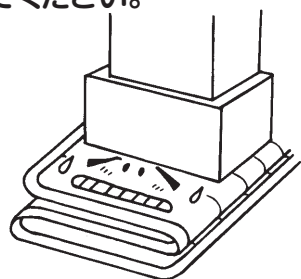
但し、ウェルナイトライフの電源プラグは抜いてください。快適にご使用いただくために、シーツもしくはカバーの併用をおすすめします。



取扱注意



保管するときは、上に重い物をのせないでください。



ウェルナイトライフは、丸洗い、クリーニング等の洗濯はできません。



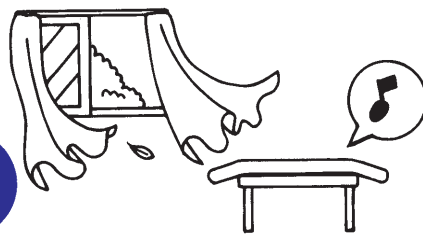
丸洗いはしないでください。



1週間に1~2回、図の様に風通しのよい所で陰干して、充分乾燥させてください。



取扱注意



部屋の窓を開けて!

敷きふとん(治療部)が汚れた場合(飲物をこぼしたときやおねしょをしたとき等...)は、中性洗剤(食器用)をとかしたぬるま湯に浸した布をしぼって、ふきとってください。充分乾燥させてください。



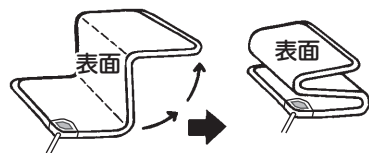
取扱注意



敷きふとん(治療部)を図の様にS字型に3つ折りにしてください。



取扱注意



※しばらく使用しなかった場合は、ウェルナイトライフが正常かつ安全に作動することを確認してください。

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

●保証書

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 保証書に記載

●補修用性能部品の保有期間

当社は本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

P11に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

●保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。)

●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

●その他ご不明な点がある場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。修理料金は、ご購入先、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

医療機器の修理に関して

本製品は医療機器です。医療機器の修理には、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づき修理する商品および修理の方法に応じて厚生労働省令で定める区分に従い、事業所ごとで許可を受けた修理業者による修理が必要です。この為、お客様ご自身での分解・修理のご要望はお受けできませんのでご了承ください。

◆機器の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。



愛情点検

このような症状はありませんか。

●長年ご使用のウェルナイトライフの点検をぜひ!

- コントローラーの損傷
- 電源コードの異常高温
- コードの損傷
- ときどき暖まらない
- 治療導子(面発熱体)の異常硬化、折れぐせ
- 異常音の発生
- 治療導子(面発熱体)の異常高温
- 電源が入らない
- その他ふだんとちがったとき

上記の症状が表れたら…ご使用を中止して

故障や事故を防止するために電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検修理をご相談ください。

memo

A series of horizontal dotted lines for writing.

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

フリーダイヤル  **0120-027-612** 受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
※土日祝日、年末年始、夏季休業日を除く。

FAX・Webでの受け付けも行っております。

FAX番号 06-4793-0818

Web フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受付けております。
フジ医療器ホームページ www.fujiiryoki.co.jp

FAX・Webでの受け付けは24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

販売元： 美と健康の総合メーカー

株式会社 **フジ医療器**

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

製造販売元：西川株式会社 大阪市中央区本町 1-3-5

製造元：西川ローズ株式会社

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL